

第3回 研修 テーマ「環境モデル都市 小国町の取組」

小国杉と木造建築物の草分け、阿蘇小国町を訪問

2017年11月27日(月)～28日(火)

■ 行程

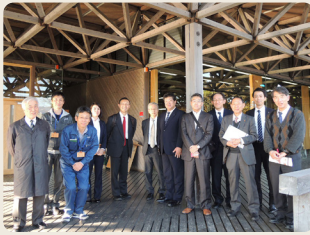
11/27

熊本空港→小国町(ゆうステーション・森林組合)→地熱乾燥施設→小田温泉(宿泊)

11/28

小国ドーム→阿蘇神社→復興住宅モデル(テクノ団地)→熊本空港

趣旨 小国杉と黒川温泉で有名な熊本県小国町を訪問。環境モデル都市としての取組を学ぶ。



小国町森林組合にて
九州大学の藤本先生にご参加頂きました。



小国町は「地熱とバイオマスを活かした農林業タウン構想」を発表しました。
山間部では、盛んに蒸気を吹き上げる地区があります。
この恵みを利用して
木材乾燥や煮物にも利用しています。
究極のエコ!



1988年(昭和63年)に完成した
小国ドームは、小国杉を使った
大型建築物の草分け的建物です。



2016年(平成28年)4月14日の熊本地震で
大きな被害を受けた肥後国一の宮阿蘇神社です。
10年かかると言われる復旧作業が行われています。



熊本空港近くに
復興住宅モデル棟が建っています。
地域の気候や生活習慣を取り入れた
プランに人気があるようです。

熊本県小国町は2004年に環境モデル都市に採択され「地熱とバイオマスを活かした農林業タウン構想」を発表。

町の面積の78%を占める森林を適正に管理・活用し、更に豊富な温泉(地熱)資源も熱利用することで、将来的に「ゼロカーボンのまち」を目指すものです。